

ブゼンノギク

Heteropappus hispidus subsp. *koidzumianus*

キク科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 II

種
子
植
物



九州北部地域の特産種。県内での生育地は、県北地方の凝灰角れき岩ぎょうかいの岩場に広く分布する。日当たりのよい岩場や崖地に生える無毛の越年草で、岩上や崖地によく繁茂している。高さ1m内外で、茎は多く分枝する。花期は10～11月、径3.5～4cmの多くの頭花をつける。舌状花は紫色で、冠毛は長さ3～4cm。人里近い岩場では、生育地の土地の改変や人による採取が懸念される。

(写真：生野喜和人 文：荒金正憲)

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地、玖珠丘陵地・山地

分布域 九州（佐賀・大分）

国立公園指定植物 [耶馬日田英彦山]